

Makuhari's Memory

かけがえのない仲間と過ごした貴重な時間

令和5年度より文化振興業務を担っていますが、相談する環境が乏しく、過ぎ行く日々には漠然と不安や孤独感を抱いていました。そんな中、市町村アカデミー研修を勧められ、すぐに応募し、半袖の沖縄から真冬の千葉へ。そこには41名の同じ悩みを抱えた仲間が集い、熱心に議論していました。研修初日は緊張よりも妙にほっとしたのを覚えています。

本研修の最大の魅力は、何とんでも討議機会の多さです。ほとんどの講義中に討議時間が設けられ、しかも最前線でご活躍される著名な先生方に講評までいただきます。また、班ごとでも自分たちでテーマを決め、解決策を検討し最終日に発表するという課題が与えられました。その準備として、毎日顔を合わせ討議や資料作成を行い、皆夜遅くまで集中して課題演習に取り組んでいました。私自身も、受講生と意見交換する中で新たなアイデアが生まれ、大変刺激になりました。職場に持ち帰りすぐに実行できそうな戦略を豊富に学べたことは、大きな収穫です。

日常の業務から離れ、協力して課題を乗り越える。まさに苦楽を共にした仲間を得られたことは、今後

の公務員人生において貴重な財産です。自由時間でもお互いのまちの文化を紹介し合い、交流を深めることができました。最後に、福島県須賀川市の俳句文化の魅力を教えていただきましたので、アカデミー研修をテーマに詠みます。

「雪景色 卓いっばいの 名刺かな」

「研修の 恥かき捨てる 冬の汗」

「千葉集い 文化交流 春近し」



玉城 あゆみ

沖縄県糸満市
教育委員会教育部生涯学習課文化振興係副主査
〈受講研修科目〉
文化芸術の活用による地域社会の活力の創造
第37期第1組（令和5年度）